Input-Output



A Handbook of Everyday English Communication

楽しく話せる英会話

Mika Yanase Faith L. Green



NAN'UN-DO

Input_Output

—A Handbook of Everyday English Communication—

Copyright © 2008

by

Mika Yanase Faith L. Green

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

はしがき

英語でコミュニケーションができるようになりたいと感じる学生さんたちが沢山います。 英語 の得意な人も不得意な人も、限られた時間内にある程度の表現力を身につけた実感を持ちたいし、同時に楽しく学習したいと考えています。 本書は、初級生から中・上級生を対象に、沢山のインプットと楽しいアウトプットを行う構成で、そんな希望にこたえるものです。

具体的にはまず、学生さんの興味や生活に密着した場面でよく使われる表現集を、シャドウイングなどを活用しながら沢山覚えて学習します。次に、ゲームなどの様々なアクティビティーに楽しく参加しながら、先に学習したことを応用して、スピーキング力を養う段取りになっています。

本書は教科書でありながら、同時に日本語対訳つきの英語表現ハンドブックとして、自由に活用していただけます。 このインプットのための表現集は、自宅でも学習のできるように、学生 CD に収録されています。

また、限られた時間内に効率よくスキルを伸ばすことができるように、Strategies Units を設けました。 リスニング力をつけるストラテジー、発想の転換を訓練するスピーキング・ストラテジーなど、5つの対応策を紹介・訓練するセクションです。

様々なアウトプットのためのアクティビティーの中には、日本の文化を説明したり感じたりするセクションもあります。 これは、インプットの際にネイティブスピーカーの表現に沢山触れて、英語文化の感覚を楽しむ一方で、日常の一部である自分自身の文化を少し振り返ってみる、ちょっとした空間です。 英語という言語に触れながら、ご自身と世界を隔てなく感じるひとときを楽しんでいただければしあわせです。

最後になりましたが、本書制作にあたり、校正やときには発案などの多方面にわたり、忍耐強く柔軟にサポートをして下さいました、株式会社南雲堂の青木泰祐取締役編集部長と Jim Knudsen さん、いつも私に、学習するための経験のチャンスを与えてくださっている皆様に、心から感謝申し上げます。

柳瀬 実佳

本書の構成と使い方

学習目的: 定められた短期間中に、楽しみながら効果的に英語コミュニケーション能力を養成します。 目標を達成 するために、次の 4 つのセクションで構成されています。

- 1. 短期間で効率よく効果アップを狙う 5 種類の Strategies Units。
- 2. 日常生活でそのまま使える表現集の、Functional/Topical English Units。学生の皆さんの興味に沿ったトピックです。
- 3. 日本文化を英語で説明するための Explaining Japanese Culture Section。
- 4. 自分の意見を英語で表現し、話し合う能力を養成する Stating Your Opinions / Discussion Section。

(上記の詳細説明)

1. Strategies Units

- Day 1: 英語コミュニケーションに必要な Listening や Reading 力養成のための Strategy を紹介・訓練します。
- Day 2: Grammar Focus では、ゲーム形式で必要文法をいくつかまとめて復習します。
- Day 3: Conversation Strategies では、コミュニケーション力を効果的に養成するためのこつの紹介と訓練をします。
- Day 23: Speaking Strategies では、発想の転換により、日本語の慣用句などを、英語で表現できるようにします。
- Day 24: Discussion Strategy では、ガイダンスを提示しています。

2. Functional/Topical Units

褒める、お礼を言う、情報を得るなどの機能一般を、英語で行うこつを学習し、トレーニングします。 デートや旅行、スポーツなど、そのまま日常生活で活用できるトピックです。

このテキストの特徴

このテキストでは USEFUL EXPRESSIONS や MODEL DIALOGUE に日本語訳をつけていますので、効率よく表現を覚えるためのハンドブックとして活用することができます。 また、インストラクションを、日本語で説明しています。これは、例えば授業が全て英語で行われるときなどにも、皆さんの理解を手伝うためです。

各課の主な構成

基本的には、次の項目別に、インプットとアウトプットを訓練していきます。

USEFUL EXPRESSIONS (input)

感情を表す、提案する、買い物をするなど、トピックや機能別に学習ができます。シャドウイング(p. 9)をしながら、スピーキング力をアップさせる表現集として覚えて活用して下さい。

MODEL DIALOGUE (input)

カジュアルに招待する、ディスカッションするなど、機能別の会話例です。シャドウイングをしたりリスニング 問題を解きながら、コミュニケーション力を向上させるために活用してください。

PATTERN PRACTICE (input & output)

機能別に、まず下線部の便利なフレーズを学習し、次にそれを応用して表現力を身につけていきます。

例: 昔ながらの手料理にとってかわるほどよいものはありません。(美しい音楽に/ダヴィンチの原画に)

Nothing can replace good, old fashioned home cooking.

答え: Nothing can replace (beautiful music / Da Vinci's original paintings).

TASK: Let's Communicate! (output)

Pair Work … ペアになって色々なコミュニケーションを楽しみましょう。

Game … グループやクラスでゲームを楽しみましょう。

Presentation … 各自やペア、グループなどでスキットパフォーマンスや、クラス発表をしましょう。

PRACTICE (output & input)

リスニング作業など、各自で学習をしていきます。

CONTENTS

Day 1:	(Warming Up-1) Classroom English / Listening Strategies / Reading Strategies	7
Day 2:	(Warming Up-2) Grammar Focus	11
Day 3:	Conversation Strategies	14
Day 4:	Personalities / Compliments / Congratulating / Thanking-1	20
Day 5:	Dating	23
Day 6:	Emotions / Sports	27
Day 7:	Telephone Conversations / Invitations (Politeness)	34
Day 8:	Suggestions / Planning Details	38
Day 9:	Review	42
Day 10:	Ordering / Requesting-1	43
Day 11:	Requesting-2 / Refusals (Politeness)	47
Day 12:	Asking for Permission or Favors / Offering / Thanking-2 (Politeness)	52
Day 13:	Warnings / Giving Advice / Instructions (Directions / Cooking)	56
Day 14:	Complaining / Apologizing & Making Excuses	63
Day 15:	Review	67
Day 16:	Getting More Information	69
Day 17:	Sharing Your Experiences	73
Day 18:	Shopping / Traveling / English in the Office	74
Day 19:	Explaining Japanese Culture	80
Day 20:	Agreeing & Disagreeing / Stating Your Opinions-1	83
Day 21:	Guided Discussion-1 Similarities & Differences / Planning an Activity	87
Day 22:	Guided Discussion-2 Deciding Your Own Values	91
Day 23:	Speaking Strategy Changing Your Perception	94
Day 24:	Stating Your Opinions-2 / Discussion Strategies	97
EDR TE	INSE CHART	106

(Warming Up-1) CLASSROOM ENGLISH / LISTENING STRATEGIES / READING STRATEGIES



CLASSROOM **ENGLISH**

Here are some handy English sentences you can use in class when talking to your teacher.



USEFUL EXPRESSIONS CD を聴いて次の表現を 3 回リピートしましょう。



もう少しゆっくり話していただけますか。

もう一度いっていただけますか。

質問してもいいですか。

何をしたらいいですか。

この文はどういう意味ですか。

わかりません。

コピーが二部足りません。/ 余りました。

- → Could you speak a little slower [more slowly], please?
- → Could you say it again, please?
- → Can I ask you a question?
- → I'm not sure what we are supposed to do.
- → What does this sentence mean?
- → I'm sorry, but I don't understand.
- → We're two copies short. / There are some copies left over.

LISTENING **STRATEGIES**

音声の特徴を知り、英語の強弱リズムに慣れるようにしてリスニング力を養いましょう。

1 英語の強弱リズム 英語は、大切な情報を強くはっきりと発音する強弱のある言語です。さほど大切でない情 報は、弱く早く発音されます。まずは強く発話されている部分から聴きとれるようにしましょう♪



CD を聴いて次のパターンを 2 回リピートしましょう。(1、2、3、4 が大切な情報だと仮定します。それ以外 の and、then、a といった単語は、弱く早く発音されます。)

1	2	3	4
1 and	2 and	3 and	4
1 and a	2 and a	3 and a	4
1 and then a	2 and then a	3 and then a	4

2 弱く発音される部分 あまり大切でない情報は早く発音されるため、音が変化して音声が聴きづらくなります。 英文中の、どの部分が弱く発音されるのか(下線部)についての大まかなルールを学び、応用します。



CD を聴いて次の文を 2 回リピートしましょう。(大切な情報である太字の部分が強く発音されています)

- I know you like him. / What's her name? 1) 代名詞
- Come and see us. / She said that you saw him. / Coffee or tea? 2) 接続詞
- Thanks for the meal. / I go to bed at ten. 3) 前置詞
- I'm fine. / What does it mean? / What can I say? / The lecture has just finished. 4) 助動詞
- You can enjoy cherry blossoms in the park near here. / Could I have some more tea? 5) 冠詞、etc.
- This is the girl who won the speech contest. 6) 関係詞

(=This is the girl.+This girl won the speech contest.)

3 弱く発音される部分の音の変化 発話者が発話しやすいように音が変化します。次の大まかなルールをリピートしましょう。



55

1) 聞こえなくなる音のパターン

Bob baked the cake.

(同音がつづいたとき前の(bの)音が聞こえなくなる)

I'd better go now.

(全く違う発音器官を用いた方法の音が続いたとき前の (dの) 音が聞こえなくなる)

CD を聴いて次の1)の文と、2)と3)のパターンをそれぞれ2回リピートしましょう。

She's my good friend. / I didn't go to work.

(語尾の t/d の音がよく聞こえなくなる)

2) ひとつになる音のパターン

 $S + you = 2 - \rightarrow God bless you.$

 $Z + you = \Im \neg - \rightarrow$ It was your notebook.

 $T + you = \mathcal{F} \mathcal{I} \rightarrow I'II \text{ meet you.}$

D + you = \Im → We told you.

3) つながる音のパターン例

cheer up / an orange, turn in /a lot of, put it on / fill in /come on / take it away

4 短縮形の音(be 動詞、have (has/had) などの助動詞、その他の助動詞 (will, would, do) など)



短縮形の音をききとれるように、CD を聴いて次の文を 2 回リピートしましょう。

She's my sister. / You're an excellent student. / l've already finished my homework. / He's been to New York. / You'll be surprised to hear what happened. / What d'you think? (=do)

READING / LISTENING STRATEGIES 1

英語の語順に慣れる訓練

Finding meaningful chunks in sentences is a good way to improve your understanding of English sentence structure and your listening comprehension.

- **1** 英語の語順のまま、文頭から順番に意味のかたまりを見つけます。そのかたまりごとに区切って、英語の語順で理解していきます。
- **2** 区切りを入れる場所のルール:意味のかたまりごとに英文を区切るとき、次のルールを参考に、自分に必要なルールを応用します。

RULE 1: 主語が長いときは動詞の前で区切る。

RULE 2: 前置詞(in, on, at, from, to, of, for, by, with, among, etc.)の前で区切る。

RULE 3: 接続詞 (and, or, but, that, because, etc.) の前で区切る。

RULE 4: 関係詞(that, which, who, when, where, how, why, etc.)の前で区切る。

RULE 5: to 不定詞の前で区切る。(e.g. I go to school / to study English.

I plan / to have lunch / with my friends / in the cafeteria.)



PRACTICE 次の英文を、p. 8 2 のルールを応用して意味の区切りで分け、スラッシュ (/)を入れましょう。CDを聴きながら、なるべく英語の語順のまま和訳してみましょう。

Shizuka Arakawa

Shizuka Arakawa is a Japanese figure skater who won the gold medal in Ladies Singles at the Winter Olympics in Turin, Italy. On February 23, 2006, she became the first woman born in Asia to "take home the gold" in figure skating.

Two years earlier, after capturing first place in the World Championships in Germany, Arakawa reflected on her victory: "When I came to the World Championships, I was focused on giving the best performance I could, not on what medal I could win. I just did my best—and it paid off."

What was Arakawa's state of mind when she was preparing for the 2006 Olympics? "I've always tried to be strong at heart and at peace with myself," she commented, "and so I just wanted to keep my cool and cherish every moment. "To tell the truth," she added, "I had often thought about giving up, but now I'm very glad I didn't. I want to give hope to everyone who watches me skate."

In May 2006, Arakawa announced her retirement from eligible competition. She said she was thrilled to be starting a new life. Today, she enjoys performing in ice shows and traveling around the globe promoting the fantastic sport of figure skating.

READING / LISTENING STRATEGIES 2 Shadowing

シャドウイングとは、始めの 1 \sim 3 語の音声をきいて、少し遅れて輪唱するようにリピートをする練習方法です。CD とそっくりに英語の強弱のルールをまねしながら、シャドウイングします。

■ PRACTICE ■ CD 7 を聴いてシャドウイングを 3 回しながら、意味のかたまりごとに理解する練習をしましょう。

TASK 1: Let's Communicate!

Game 1: Getting to know You.

- 1. 5~10人のグループを作り円になります。
- 2. 次のように自己紹介をします。 "Hi, I'm (Mika). I like (listening to music)." 次に、"This is for you." といって、タオルや消しゴム、ハンカチなど柔らかいものを円の中の誰かに投げます。 受け取ったひとは、"Thank you, (Mika). Hi, I'm (Ken). I like (playing soccer). This is for you." といって他のひとに柔らかいタオルなどを投げます。 この要領でお互いに自己紹介をしあいましょう。

Game 2: Memory Game Grammar Focus: I like.... / He/She likes....

- 1. 5~10人のグループを作り円になります。
- 2. 時計回りで自己紹介をします。 "Hi, I'm Mika. I like (listening to music)." 次の人は前の人の話を記憶して、そのひとの紹介を繰り返してから自己紹介をします。 "This is Mika. She likes listening to music. Hi, I'm Yuki. I like snowboarding." 3 番目の人は前の二人を順番に同様に紹介しなおし、自己紹介をします。 1 番はじめの人が全員の紹介をし終えたところで終わります。

Game: Explaining Japanese Culture (p. 80 \sim p. 82 \wedge)

Turn to page 80 to see how to play this game.

ゲーム形式で、日本文化を英語で説明する練習をしましょう。同じ作業を何度も繰り返すことで、英語による説明も上達します。そのため、今後もし授業時間が余ったときには、このゲームを少しずつ行うことがおすすめです。

